

一般財団法人 有本積善社 第 35 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 2 年 6 月 18 日（木）16：00～17：10
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数：7 名
出席委員数：4 名
出席委員の氏名：水嶋純作、今安博和、山内茂樹、松井恭子（メールコメント含む）
欠席委員の氏名：尾関善之、楠 崇智、山下美晴
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二
放送局長 中西 進
制作チーフ 上田秀篤
制作スタッフ 奥野あかり

4 議題

(1) 報告事項

① コロナ禍における局の運営状況について

- 4/16(木)に国による緊急事態宣言が京都府を含む全国へ拡大された翌日 4/17(金)から、局スタッフの時差出勤、テレワークにより、いわゆる 3 密をさける勤務態勢としている。また、スタッフ間の意思疎通をはかるため、ウィークディには定時にオンラインによる朝礼ミーティングを実施している。
- 4/18 (土)からはスタジオがある西市民プラザ自体が閉館となったので、スタッフ/パーソナリティ/ゲストは専用の出入り口からの出入りとし、生放送を継続している。出入りする人の体温測定/記録、ゲストの人数は最大でも 1 人、可能な限りオンラインによる出演としている。ショッピングセンターらぼーるサテライトスタジオでのゲスト出演も同様とし、感染拡大リスクの最小化を図っている（その後、西市民プラザは 6/1 から通常開館になったが、出入り以外は継続して対応中）
- 番組面では、飲食店のテイクアウト情報や、薬剤師による医療情報、利用できるサービスの情報など、市民の生活に役立つ情報を特別番組として繰り返し放送した。
- 長崎県佐世保東翔高校吹奏楽部顧問の先生がコロナ禍で活動できなくなった吹奏楽部員を励ます番組を地元のコミュニティ FM 局でしていることから、FM まいづるが制作している日曜日お昼の「海の京都吹奏楽フェスタ」の番組に同先生にオンライン出演してもらって特別番組を放送している。

② JCBA 日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会が主催する番組コンテストで入賞作品の発表が 5/29（金）にあり、FM まいづるが応募した以下の番組 2 点が優秀賞を受賞した。

情報教養部門：10 代のトビラ（2019 年 3 月放送）

特別番組部門：舞鶴引き揚げの日メモリアルラジオ（2019 年 8 月放送）

③ スタジオのある西市民プラザ横のマナイ商店街アーケードの有線放送が 6/1（月）から FM まいづるの放送に切り替わった。東舞鶴の八島商店街からも放送可否の問い合わせあり対応中。

- ④ 4/1（水）から夕方の生放送番組を 18:00～18:49 から 17:30～18:28 に編成替えし、内容もニュース、気象情報、交通情報などの情報系番組に衣替えした。17:00～17:49 の枠を再放送に割り当てていたのを通勤帰りのリスナーをターゲットにしてスポンサーを獲得しやすくするため。
- ⑤ 新パーソナリティ候補が紹介などで 3 名集まり、6/24（水）から研修を開始した

(2) 番組審議

2020 年 6 月 3 日（水）18:30～18:58 放送の

ちょっとできる人が集まる「ハッピネス★ラジオ」

パーソナリティ：井上幸葉

番組内容：企業の社員研修などの講師をしている担当パーソナリティが、ラジオで仕事のワンラックアップのヒントになる「仕事術」を紹介する番組

5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① 研修の講師をしている方なので話し方は上手。しかし、内容は難しいところがある。
- ② 間の取り方が上手で聴きやすい。もう少し楽に聴ける部分があってもよい。「上から目線」的に聞こえる部分も少しある。全体的な流れはいい番組である。
- ③ この時期にあったテーマだったと思う。断捨離を題材に解説されているのも解り易かった。番組的には経営者向けと思うので難易度が高いと思う。一般のリスナーの関心がいかに少しか少し気になる。
- ④ 放送が 18:30 からというのは帰宅中の車の中か、家庭では夕食どきであり、難しい話しを聴くにはあまり適当ではない時間のように思える。
- ⑤ 途中にはさむ曲が若者向けである。舞鶴の経営者層の年齢では懐メロなどがいいのではないか。
- ⑥ 何について話すのか、最初にはっきりと言い、途中でそれまでの内容を要約するのがよい。人前でセミナーでは、黒板に話しながら要点を書くこともでき、受講者はそれを確認することで理解を深めることができるが、ラジオではそれが出来ない。
- ⑦ 今後、人々が感心をもっていること、例えば地元企業の求/就職活動状況や舞鶴の経済指標などをタイムリーに話してもらうのもよい。

【その他の番組関係の意見】

- ① 国際交流協会などの協力を得て、昼間の 15 分でも外国語による外国人向けの番組を放送することを期待する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論し、これからの番組構成・内容等の改善に資するよう担当パーソナリティに伝えた。（令和 2 年 6 月 25 日）。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和2年7月2日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和2年7月2日 この審議会議事概要をホームページに掲載。

9 その他の参考事項

特になし

以上